

社会福祉法人楽笑

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>社会福祉法人楽笑は、誰もが楽しく笑いに満ちた街の創造に向け、障害のある方の社会参加を促進する為、地域の困りごとである、子どもの居場所を共に解決する事業を展開します。また、支援する職員が生き生きと働きやすく、障害のある方と向き合う為に、ICTの活用と人事考課制度を導入し、環境整備に努めます。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 3. 4. 5. 8. 11. 17	人事考課制度の本格施行により、若者、女性の活躍の場とキャリアアップの仕組みを構築し、誰もが能力を発揮しやすい環境を整える。	2023年3月までにトライアルを完了し、2023年4月より人事考課による評価制度を反映する。
	社会 1. 3. 4. 12. 17	既存の建物、既存の備品の活用し、寄付で持続可能な仕組みを構築した、子どもたちの居場所づくりを行う。	2024年4月にサーキュラーエコノミー型の子どもの居場所を1か所整備する。
環境 9. 12	ICTの導入により、利用記録の電子化を図り、紙の使用量を減らす。	2024年3月までに全てのサービスの利用記録を電子化する。	